

理事会および拡大評議員会議事録から

北海道大学での全国大会の前日(5月23日)に今年度第1回の理事会および拡大評議員会が開催されました。主要な議案は以下の通りです。

報告

1. 2014年度事業計画
 2. 2014年度予算案
- ### 議題
3. 2013年度事業報告
 4. 2013年度編集委員会活動報告
 5. 2013年度大会準備委員会活動報告
 6. 2013年度決算報告
 7. 2015年度大会開催校の決定
 8. その他

*なお上記、事業計画、予算案、事業報告、決算報告は詳細を学会ホームページ「情報公開」欄でご覧いただけるようになってい

ます。

[8. その他]の議案は以下の通りです。

- (1) 理事の交代について——5月8日付で榎正行理事より辞任届が提出されたため、定款に基づき、同理事の辞任を承認するとともに、後任理事として松本三枝子氏(愛知県立大学)を選定いたしました。松本理事の任期は退任した榎前理事の任期満了時(2015年度大会前日会議)までとなります。
- (2) 大学代表制度について——支部体制の確立に伴い、本学会にも間接民主制が整備されたので、大学代表制度は発展的解消を遂げてもよいのではないかと、という提案が昨年度の拡大評議員会においてなされました。大学代表の方々に1年かけてご審議いただいた結果、このほど同制度は廃止されることが承認されました。
- (3) 来年度特別講演、特別シンポジウムについて——第87回大会における特別講演、特別シンポジウムの企画内容は大会準備委員会にて決

定されることが報告されました。

- (4) 支部支援金算定のための会員数実績基準日について——次年度の支部支援金は、3月31日時点での会費納入済み会員数を基準として算定することが承認されました。
- (5) 学会誌の電子媒体への転載許可に関する件——『支部統合号』に掲載された論文の電子媒体への転載については、刊行から1年後以降にこれを認めることが3月の理事会・評議員会において決定されました。その後支部からの要請を受けて、本部は「掲載論文等を電子化して公開する権利は、日本英文学会が有するものとします。執筆者による電子媒体への転載は刊行から1年後以降に許可するものとします。」という文言の追加を各支部事務局に提案し、『和文号』、『英文号』についても同様の文言を投稿規程に追加するよう編集委員会に依頼したことが報告されました。
- (6) 『支部統合号』の学術刊行物承認について——『和文号』、『英文号』と同様に、『支部統合号』についても学術刊行物としての認可を平成24年度より申請していたところ、平成26年3月31日付で認められたことが報告されました。
- (7) 海外研究者招聘後援事業について——本年度第1回の申請期限(4月1日)までに申請のあった「Romantic Connections」に対し、規程に従い理事会によるメール審議を行った結果、4月3日に14万円の資金援助が決定したことが報告されました。なお「海外招聘後援事業規程」は学会ホームページ「情報公開」欄に掲載いたしております。
- (8) 託児施設の利用状況——第86回大会においては、開催校、開催支部のご尽力により、託児施設が開設され2名の申込者が利用予定であることが報告されました。
- (9) 学会ホームページの更新について——昨年度の理事会・評議員会での決定を受け、事務局では会員の皆様により使いやすいホームページにするべく検討を重ねて参りましたが、こ

のほど事務局と業者間での最終的な調整を経て7月7日に新しいホームページの運用を開始することが報告されました。

大会準備委員会からのお知らせ

◎委員の交代

本年6月29日をもって、浅川順子、井口篤、桂山康司、城戸光世、島田雅晴の5氏が任期満了により退任しました。後任には、川島伸博(龍谷大学)、佐藤桐子(大東文化大学)、田口まゆみ(大阪産業大学)、武田和恵(文教大学)、辻和彦(近畿大学)の5氏が選出されました(任期は各委員とも3年)。委員長は大石和欣氏、副委員長は田中孝信氏です。

◎第86回全国大会の『大会Proceedings』発行

第78回全国大会の時点からはじまった『大会Proceedings』を、今回も無事発行することができました。研究発表39件中21件(53%)、シンポジウム発表50件中、23件(46%)、特別シンポジウム4件中3件(75%)、総発表数93件中47件(51%)の論文をお寄せいただきました。また、今回は、全7支部より88の原稿をいただきました。(北海道9件、東北12件、関東8件、中部13件、関西12件、中国四国10件、九州24件。)ご寄稿いただきありがとうございました。なお、『大会Proceedings』に掲載される論文は、大会発表の長めの要約という性格のもので、それを大幅に加筆して、別稿として『英文学研究』に投稿もしくは新人賞に応募することは認められています。

◎第86回全国大会で発表された方へ

ご発表いただきましてありがとうございました。研究発表およびシンポジウムのいずれについても、参加者の方々から多くのご好評をいただきました。ハンドアウト等の資料が不足した部屋・部門においては、大会直後の時点で、今からでもほしいという声が多く寄せられました。著作権等の問題がない場合には、今年度も学会ホームページにおいて掲載させていただきたく思っております。これからでも掲載して下さる発表者の方は、ぜひ事務局に原稿をお送りください。電子ファイル(etaikai@elsj.org)でも、ハードコピーでも結構です。どうぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

◎第87回全国大会の開催日・開催校等

時 2015年5月23日(土)、24日(日)

所 立正大学 品川キャンパス

(東京都品川区大崎4-2-16)

開催校委員

安達秀夫、伊澤高志、小沢奈美恵、樺山弘盛、
ゲリー・デンドウ、齊藤昇(委員長)、白井義昭、
瀧口美佳、中井理香、萩野智美

立正大学の先生方には大変なお仕事をお引き受けいただき、まことにありがとうございます。また全国大会担当支部である関東支部の方々にも心より御礼申し上げます。大会準備委員会としても、できるかぎりのバックアップを心がけたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

◎第87回全国大会のシンポジウム企画の内定

第87回全国大会におけるシンポジウムの企画が下記のように内定しました。(敬称略。タイトルの変更の可能性あり。また、講師が追加される予定の企画あり。)

第1部門「言葉の絵を見る——エクフラシス再考」(仮)

司会・講師 小林 潤司(鹿児島国際大学教授)
講師 阿部 公彦(東京大学准教授)
講師 竹村はるみ(立命館大学教授)
講師 日向 太郎(東京大学准教授)

第2部門「美学と詩学を再考する」(仮)

司会・講師 大河内 昌(東北大学教授)
講師 吉国 浩哉(東京大学准教授)
講師 田中 裕介(青山学院大学准教授)
講師 秦 邦生(津田塾大学准教授)

第3部門「メロドラマの諸相」(仮)

司会・講師 原 英一(東京女子大学教授)
講師 野田 学(明治大学教授)
講師 金山 亮太(大和大学准教授)
講師 奥村 真紀(京都教育大学准教授)

第4部門「グローバル都市ロンドンの表象」(仮)

司会・講師 木村 茂雄(大阪大学教授)
講師 大田 信良(東京学芸大学教授)
講師 清水 知子(筑波大学准教授)
講師 板倉巖一郎(中京大学准教授)

第5部門「中世イングランド文学におけるフランス」(仮)

司会・講師 松田 隆美(慶応義塾大学教授)
 講師 横山安由美(フェリス女学院大学教授)
 講師 小林 宜子(東京大学准教授)
 講師 大沼 由布(同志社大学准教授)

講師 田村 早苗(北星学園大学講師)
 講師 上垣 渉(マサチューセッツ工科大学大学院)

第6部門「言語能力の基本的枠組みと諸概念

——ミニマリスト仮説からの帰結」(仮)

司会・講師 阿部 潤(東北学院大学非常勤講師)
 講師 北原 久嗣(慶応義塾大学教授)
 講師 野村 昌司(中京大学准教授)
 講師 瀧田 健介(三重大学特任講師)

第12部門「英語文体論からの英語教育への挑戦状」(仮)

司会・コメンテーター 豊田 昌倫(京都大学名誉教授)
 講師 中川 憲(安田女子大学教授)
 講師 菊池 繁夫(関西外語大学教授)
 講師 堀 正広(熊本学園大学教授)
 講師 斎藤 兆史(東京大学教授)

第7部門「新しい〈NOVEL〉のかたち」

司会 波戸岡景太(明治大学准教授)
 講師 結城 正美(金沢大学教授)
 講師 藤井 光(同志社大学准教授)
 講師 小澤 英実(東京学芸大学准教授)
 講師 古川日出男(作家)

◎第87回全国大会招待発表

第86回全国大会に引き続き、第87回全国大会においても招待発表を行います。講師は、現段階では次の各氏に決定しています。(敬称略。50音順。)

秋篠 憲一(同志社大学教授)
 新井 潤美(上智大学教授)
 入子 文子(元関西大学教授)
 奥 聡一郎(関東学院大学教授)
 河合祥一郎(東京大学教授)
 坂本 武(関西大学名誉教授)
 中尾まさみ(東京大学教授)
 丸田 忠雄(東京理科大学教授)

第8部門「トランスナショナルな移動性へ

——身体のか越境」という問いをめぐって」

司会・講師 内野 儀(東京大学教授)
 講師 岡田 利規(劇作家・演出家)
 講師 Karen Shimakawa(ニューヨーク大学准教授)
 講師 戸谷 陽子(お茶の水女子大学教授)

◎第87回全国大会特別シンポジウム

第87回全国大会における特別シンポジウムの概要は、以下の通りです。

【オープン・フォーラム】教育・研究現場からの声——現状認識から将来の英文学会を展望する(仮)

司会・講師 中尾 佳行(広島大学教授)
 講師 下河辺美知子(成蹊大学教授)
 講師 河野真太郎(一橋大学准教授)
 講師 中村 哲子(駒澤大学准教授)
 講師 原田 範行(東京女子大学教授)

第9部門「William Dean Howells 再読」(仮)

司会・講師 久保 拓也(金沢大学准教授)
 講師 吉田 明代(工学院大学非常勤講師)
 講師 上西 哲雄(東京工業大学教授)
 講師 水野 尚之(京都大学教授)
 講師 大井 浩二(関西学院大学名誉教授)

◎第87回全国大会研究発表の募集

第87回全国大会の研究発表を募集しています。応募の規程および方法については、昨年改正されています。学会のホームページ(<http://www.elsj.org>)でご確認の上、ふるってご応募ください。また、ウェブ上のフォーマットを利用して、ウェブ上から直接応募することが可能ですので、どうぞご利用ください。応募の締切りは、11月1日(必着)です。

第10部門「名詞句の分析——定冠詞、属格(所有代名詞)や同族目的語の問題を通言語的、通時的視点から徹底的に解明する」

司会・講師 大沢ふよう(法政大学教授)
 講師 西山 國雄(茨城大学教授)
 講師 茨木正志郎(北海道教育大学准教授)
 講師 久米 祐介(藤田保健衛生大学講師)

第11部門「形式語用論——形式化からみえること」(仮)

司会・講師 藏藤 健雄(立命館大学教授)
 講師 薮下 克彦(鳴門教育大学教授)

◎シンポジア公募の停止

2012年3月発行の『ELSJ Newsletter (No.119)』でお知らせしましたように、ワークショップ制度導入に伴い、提案者自らが参加するシンポジアの企画の公募は第86回全国大会より停止しています。ただし、提案者自らが参加しない形のシンポジアのテーマに関する提言は、随時受け付けていますので、事務局(etaikai@elsj.org)までお寄せください。寄せられたアイデアはデータベース化して、大会準備委員がシンポジアを企画立案する際の参考資料として活用します。

◎第87回全国大会ワークショップ

第86回全国大会より導入されたワークショップ(ただし、第86回大会は応募なし)に応募が寄せられ、下記の企画が採択されました。

「学校の内と外——イギリス、アメリカ、日本を比較して」

司会・講師 富山太佳夫(青山学院大学教授)
 講師 志渡岡理恵(実践女子大学准教授)
 講師 佐々木真理(実践女子大学准教授)
 講師 辻 吉祥(青山学院女子短期大学准教授)

編集委員会からのお知らせ

◎投稿状況

『英文学研究』は、和文号(12月刊行)、英文号(3月刊行)の年各一冊という刊行形態となっており、それに応じてそれぞれ投稿締切が設定されていますが、昨年9月1日締切の英文号には25本の投稿論文が寄せられました。また、本年4月1日締切の和文号には10本の投稿論文が寄せられました。

◎第37回新人賞応募状況

第37回新人賞論文の応募受付は、去る4月30日をもって締切となりました。応募論文総数は、7篇(英文学3篇、米文学4篇、英語学0篇)です。応募者の皆様には心より感謝申し上げます。

今年度は残念ながら、第一次銓衡を通過した論文はなく、新人賞、佳作とも、該当論文なしということに決定いたしました。全体および各分野の選評は『英文学研究』和文号第91巻に掲載されます。

◎優秀論文賞について

この賞は『英文学研究』(和文号、英文号)に掲

載される論文の中から、特に優れた論文に授与されるものです。『英文学研究』第91巻においては、秦邦生氏(津田塾大学准教授)の「女工たちのモダニティ——『ヒンドル・ウェイクス』におけるアダプテーションと労働、余暇、快楽の政治学」が選ばれました。なお、今年度から、優秀論文賞推薦コメントも学会誌と学会ホームページに掲載することとなりました。

◎投稿規程・新人賞規程の変更

主な変更は下記の4点です。

- (1) 電子媒体への転載に関して、以下の通り下線部が付加されることとなりました。これらは、通常論文の投稿規程と新人賞規程に等しく適用されます。
 - 日本語版：「掲載論文等を電子化して公開する権利は、日本英文学会が有するものとします。日本英文学会は掲載論文等を電子化して公開する権利を、刊行後1年間は独占的に有するものとします。ただし、刊行から1年を経過した後には、執筆者は電子媒体への転載を日本英文学会の許可を得て行うことができます。」
 - 英語版：“The English Literary Society of Japan reserves the right to make published papers available in electronic form. The English Literary Society of Japan holds exclusive rights to digital reprint and dissemination of papers and other journal texts for one year after publication. Thereafter authors may reprint their texts in electronic form with the permission of The English Literary Society of Japan.”
- (2) 論文における不正抑止のための項目が、以下の通り付加されることとなりました。これらは、通常論文の投稿規程と新人賞規程に等しく適用されます。
 - 日本語版：「日本英文学会は、掲載論文において他の著作からの不適切な引用などの不正が認められた場合は、本学会の会誌においてそのことを公告すると共に、当該論文の掲載を刊行時に遡って取り消すことがあります。」
 - 英語版：“If there is evidence of misquoting or other such academic misconduct in an article already published in this journal, The English Literary Society of Japan will notify readers of that fact and retract the article.”

- (3) 日本語論文投稿規程、新人賞規程(日本語版)に記載の「北星堂」が現在はないため、該当部分(「…や『MLA新英語論文の手引書』(北星堂)」)を削除いたします。
- (4) 和文号第90巻に掲載の英語論文投稿規程のインデントやナンバリングに問題が見つかったため、次号では適切な形に訂正いたします。
- 詳細は本年12月刊行の和文号掲載の投稿規程でご確認ください。

◎オンライン上で公開された博士論文の投稿について

博士論文のインターネット公開義務化に伴い、その一部を投稿する場合、すでにその内容がオンライン上で公開されているという状況が可能性として考えられるようになりました。『英文学研究』では元来、博士論文の一部は「未発表」と見なし、投稿可としていますが、オンライン上で公開されたものについても同様に扱うこととなりました。

◎顧問の業績公開について

10名の編集委員会顧問の研究業績を学会ホームページにて公開することとなりました。

事務局からのお願い・ご報告

◎今年度の大会について

5月24日(土)・25日(日)に北海道大学札幌キャンパスにて開催された第86回全国大会は、両日も晴天にめぐまれ、当日会員を含む多くの方々にご来場いただきました。研究発表、シンポジアのいずれにおきましても活発な議論が展開され、斎藤兆史先生、真野泰先生、亀山郁夫先生、鴻巣友季子先生による特別シンポジウムもまことに啓発的であり、立ち見が出るほどの盛況ぶり、大会は盛会のうちに終了いたしました。研究発表・シンポジウム関係者、特別シンポジウム関係者の皆様、書籍展示に参加された協賛会員の皆様、大会運営を担われた教職員・学生の皆様、会の運営に力をお貸しくださった北海道支部の皆様には厚く御礼申し上げます。

◎来年度の大会について

すでに学会ホームページでもお知らせしておりますように、来年の第87回全国大会は2015年5月23日(土)・24日(日)の両日に立正大学品川キャン

パスにおいて開催されることが決定いたしました。開催校をお引き受けくださった立正大学の皆様には心より御礼申し上げます。

なお、全国大会初日(5月23日)の夕刻には、会員の皆様にご参加いただく懇親会を予定しております。懇親会の予約方法につきましては、2015年3月刊行予定の『第87回大会資料』ならびに学会ホームページにて、改めてお知らせいたします。

◎全国大会期間中における託児所の開設について

開催校と開催支部のご尽力により、来年度全国大会期間中に、託児業者に委託する形で、大会会場内に託児所が開設されることになりました。ご関心のある方は本部事務局にお問い合わせください。

◎会費納入と刊行物発送について

会費(一般会員8,000円、学生会員5,000円、協賛会員10,000円)を滞納しても、ただちに会員資格を失うことにはなりません。退会届が出されない限り、会費の納入が滞っても、2年間は引き続き刊行物をお送りいたします。『大会Proceedings』に2年度分の会費振込用紙が同封されている方々は、会費滞納が2年目になっています。今年度中に2年度分の会費の納入がなかった場合、2015年3月末をもって除名となり、未納分は債務として請求されますのでご注意ください。

会費の納入状況が不確かな場合には、メール・電話・ファックスなどで、事務局までお問い合わせください。重複して会費が支払われますと、払い戻しなどに余分な手数料がかかってしまいますのでご注意ください。

会費の納入忘れを避けるためにも、「郵便局自動払込みによる会費引き落とし」のご利用を強くお勧めしております。郵便局(ゆうちょ銀行)に口座を開設する必要はありますが、あとの手続きは、事務局からお送りする書類に記入して、ご返送いただくだけです。領収書も、ご請求があれば学会より発行いたします。メールや電話でご連絡をいただければ、速やかに自動払込み停止の手続きをいたします。まだ利用されていない場合は、これを機会に是非ともご検討ください。

◎会員著書案内について

2012年4月より、事務局宛てに会員の皆様から

ご著書を献本いただいた場合、学会ホームページに、著書紹介を出版から2年間掲載することができるようになっております。著書は会員独自の研究成果に限り、訳書等は対象外とさせていただきます。また、著書案内に掲載された著書については、『英文学研究』編集委員会において書評対象の候補として検討させていただきます。著書に関する情報は、

1. 著書のタイトル、目次、出版社、出版年
2. 著書の内容の梗概1200字程度

です。会員の皆様、ご著書をお出しになった方は、どうぞふるって著書紹介コーナーをご利用くださるようお願い申し上げます。1および2の著書情報は事務局までメールでお寄せください。すでに22冊(2014年7月時点)が学会ホームページ「会員著書案内」欄に紹介されておりますので、ぜひご覧ください。

◎海外研究者招聘後援事業について

日本英文学会では、2011年6月1日より、日本における英文学研究の国際化促進のために、海外研究者招聘後援事業を開始いたしております。詳細は学会ホームページ上の当該規程をご覧ください。同規程に該当する企画をおもちの団体による応募を歓迎いたします。どうぞふるってご応募くださいますようお願いいたします。応募する団体は申請書類を事務局宛て電子メールにてお送りください。

◎次回のNewsletterについて

次回のNewsletterは、2015年3月中旬刊行予定の『第87回全国大会資料』の巻末に掲載される予定です。なお、それまでの間に公開すべき情報は、随時、学会ホームページにて告知いたします。

◎その他

本年5月末をもって、前任の廣田篤彦事務局長、北川依子会計担当事務局長補佐、田中裕介編集担当書記、瀬名波栄潤大会準備担当書記が退任されました。一般財団法人化以後の英文学会の基礎を固めるべく、数多の困難と膨大な業務に、それぞれ優れた判断力と迅速な行動力をもって対処してくださいました。改めて心より御礼申し上げます。

この交代に先立って、4月より新たに、金澤哲(事務局長補佐)、小宮彩加(会計担当補佐)、合田典

世(編集担当書記)、樺山弘盛(大会準備担当書記)の4名が事務局に入り、昨年度の事務局長補佐から事務局長に配置換えになった松本靖彦、昨年度より引き続きウェブ担当を務める山本洋平とともに6名の体制で本年度の事務局運営に携わることになりました。任期は来年度の大会が終わる5月末までです。2名のいずれも有能な事務職員に支えられ、佐々木徹会長のもと、力を合わせて努めていきたいと考えております。至らぬ点多々あることかと存じますが、会員の皆様におかれましては、ご指導・ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

日本英文学会事務局

松本靖彦・金澤哲・小宮彩加・合田典世・
樺山弘盛・山本洋平